

ThinkPark Tower

設計監理：日建設計



東面全景（写真提供：日建設計、撮影：SS企画）



Best Equipment

魅力ある都市環境創出を目指して

大本勘市
KANICHI OMOTO

「ThinkPark Tower」の計画は、1913年に設立された明電舎大崎事業所が機能移転を完了した1985年からスタートした。2002年、大崎駅西口地区地区計画が都市計画決定、2003年からは世界貿易センタービルディングが事業参画し、2004年に東京都都市再生特別地区第1号の認定を受けた。2005年2月に起工、駅前東西公共デッキ（夢さん橋）、交通広場、公共地下駐輪場と相まって新しい大崎駅西口の街づくりが始まり、2007年10月25日にグランドオープンを迎えた。

開発コンセプトは“Green Urbanism & Organic Circulation”である。起伏のある“大崎の森”を再生・創造し、その中に“南東京の新しいランドマーク”として先進的で機能的なオフィスタワーを配置し、賑わいと至便、環境への配慮、

そして自然との調和を図った魅力ある都市環境創出を目指した。

「ThinkPark Plaza」（低層商業施設）は屋上緑化により大地化し、「ThinkPark Forest」（大崎の森）と一体化させて、駅や近隣など周辺からの人の流れを積極的に敷地内に取り込んだ動線計画とした。地域に開かれた「ThinkPark Arena」（多目的広場）や「ThinkPark Forest」などの外部空間との連続性を図り、大崎の森を回遊しながら店舗の賑わいや外部空間のアクティビティが屋内外にわたって感じられ、潤いや活気あふれる空間を目指した。外部に面する飲食店舗にはテラ

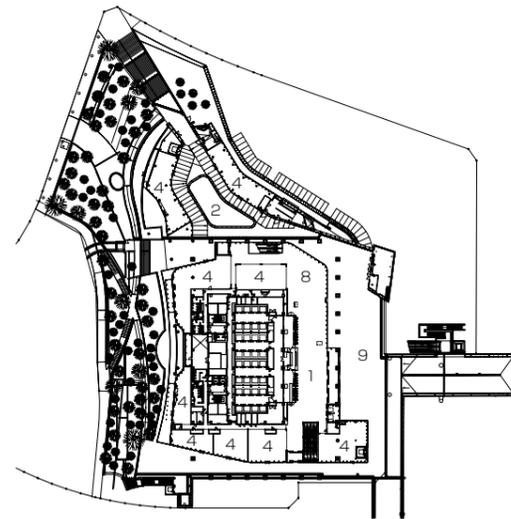
ス席があり、駅前にもかかわらず緑の中の心地良い時を過ごすことができる。

オフィスタワー基準階事務室は、奥行き約18~20m、1フロア約3,000m²の無柱空間で、都内有数の規模を誇る。“貸しやすく、借りやすい”オフィスとして目指したものは、事務室としての基本的な仕様・グレード感、環境面への配慮、テナントニーズに対するフレキシビリティ、充実したアメニティである。

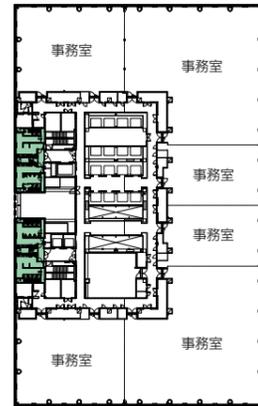
天井高CH=2,800mm、OAフロアH=100mm、グリッドシステム天井などの採用は、新しい事業ビルでは標準であろう。空調機、電気用シャフト、通信シ

上—エントランスホール
右—大崎の森 屋上緑化した
“大崎の森”は、東京湾からの
海風が通り抜ける「風の道」と
なり、緑の天蓋が作り出す日
陰と土からの蒸散効果によっ
て、地表面温度を大幅に下げ
ることに成功している（写真提
供：日建設計、撮影：SS企画）

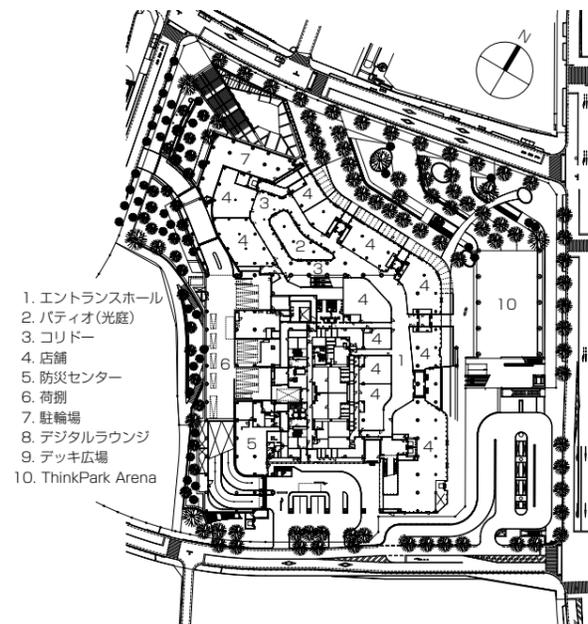




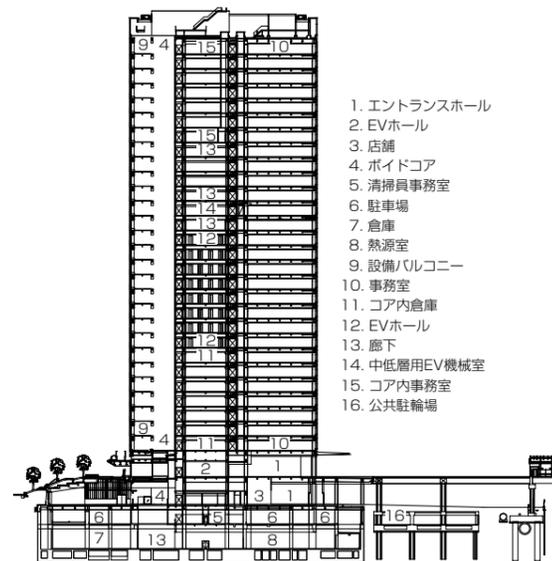
2階平面図 縮尺1/2,500



基準階平面図 縮尺1/1,500



1階平面図 縮尺1/2,500



断面図 縮尺1/2,000

1. エントランスホール
2. パティオ(光庭)
3. コリドー
4. 店舗
5. 防災センター
6. 荷捌
7. 駐輪場
8. デジタルラウンジ
9. デッキ広場
10. ThinkPark Arena

1. エントランスホール
2. EVホール
3. 店舗
4. ボイドコア
5. 清掃員事務室
6. 駐車場
7. 倉庫
8. 熱源室
9. 設備バルコニー
10. 事務室
11. コア内倉庫
12. EVホール
13. 廊下
14. 中低層用EV機械室
15. コア内事務室
16. 公共駐輪場

ャフトはテナント区画ごとに用意され、設備メンテナンスはすべて共用廊下側からできるといったように、管理運営面からの視点も配慮している。環境配慮面から、窓まわりは“複層ガラス+エアバリアファン+電動ブラインド”による簡易エアフローとし、省エネルギーと採光が両立できる。テナントニーズに対するフレキシビリティを高めるものとして、事務室専有部内の内部階段設置対応、空調設備増設スペースとして設備バルコニーを用意している。設備配管類の増設、更新時の搬出入ルートに活用できる吹抜け(ボイドコア)をコア中央部に設け、建物全体の長寿命化を図っている。

エレベータホールや共用廊下は、木質

調の仕上げで落ち着き感とグレード感を求めた。また、各テナント扉上部の天井は木質の庇形状とし、単調になりがちな共用廊下に変化を与え、スケール感のあるデザインとした。

基準階トイレは、男女2カ所ずつ西側外壁に面して配置し、北側の男女トイレ内には通常のブース2つ分を利用した多目的トイレを設置した。天井高も事務室と同じ高さで、縦基調の開口部により自然光あふれる明るく気持の良い空間とした。洗面化粧鏡のデザインも、外装のセラミックパターンと同じパターンを発光面とし、鏡脇面から優しい光が顔を照らすように、利用者にとって使いやすいものとした。*

おおもと・かんいち—日建設計 設計部門主管/1956年生まれ。日本大学大学院修了後、1982年、日建設計入社。主に官庁、在外公館などの長大プロジェクトに参画。2000年からThinkPark Towerを担当。主な作品：市ヶ谷記念館(1999)、防衛庁市ヶ谷(2000)、在ロシア日本国大使館(2007)など。

■建築概要

名称：ThinkPark Tower
所在地：東京都品川区大崎2-1-1
設計監理：日建設計
施工：鹿島・大林・三井住友・鴻池・熊谷JV
敷地面積：18,850.00㎡
建築面積：10,790.92㎡
延床面積：151,937.93㎡
規模：地下2階、地上30階、塔屋2階
構造：S造、一部SRC、RC造
工期：2005.2~2007.8

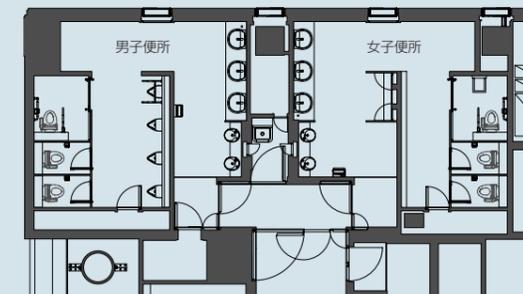
基準階トイレ



トイレピクトサイン 木質系とは異なる質感を持たせた



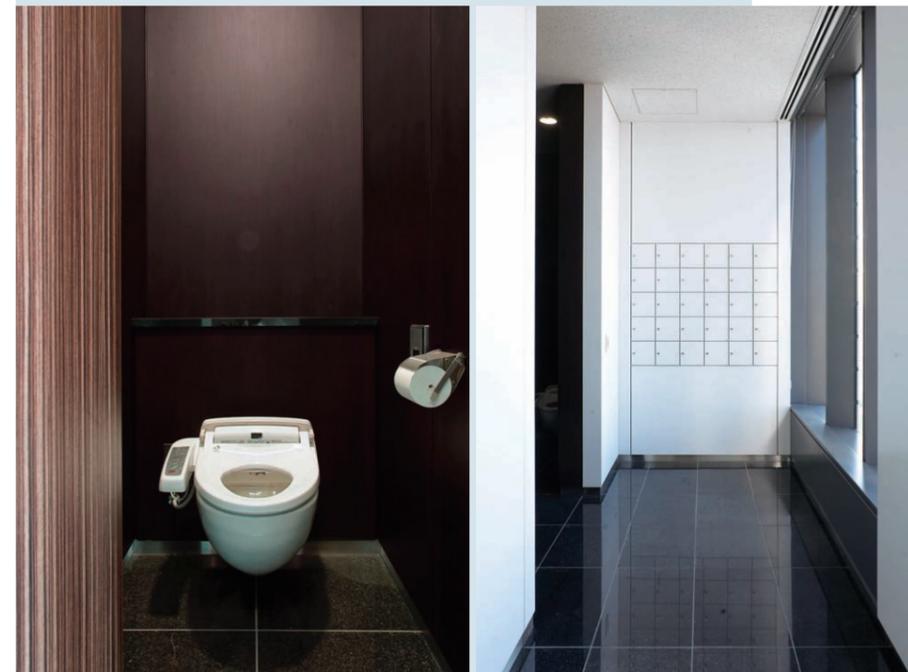
男子トイレ ●INAX使用商品●センサー一体型小便器：AWU-506R-TU1、洗面器：L-2094FCS、自動水栓：AM-43UK(100V)、自動水石けん供給栓：KS-923MCP-1



トイレ平面図 縮尺1/200



女子多目的トイレ
●INAX使用商品●壁掛式洋風便器：C-22PURC、シャワートイレ：CW-P22F-NEC



女子トイレ
中一壁面と一体化したデザインの小物入れ
下—洗面手洗いの化粧鏡には、ペーパータオルホルダーを設置。ペーパーの補充時は、化粧鏡を手前に持ち上げて行う
●INAX使用商品●壁掛式洋風便器：C-22PURC、シャワートイレ：CW-P22F-NEC

